

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月6日

上場会社名 朝日放送株式会社
 コード番号 9405 URL <http://asahi.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理局長
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月14日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 大

(氏名) 渡辺 克信
 (氏名) 沖中 進

TEL 06-6458-5321

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	18,783	△7.7	181	—	278	—	128	—
21年3月期第1四半期	20,350	—	△537	—	△449	—	△320	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	30.78	—
21年3月期第1四半期	△76.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	95,075	53,534	53.4	12,142.91
21年3月期	95,965	53,152	52.6	12,056.51

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 50,796百万円 21年3月期 50,435百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	45.00	—	45.00	90.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	45.00	—	45.00	90.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	37,000	△9.2	△600	—	△600	—	△600	—	△143.43
連結累計期間	75,000	△6.6	1,400	—	1,400	—	1,100	—	262.95

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 4,183,300株 21年3月期 4,183,300株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 40株 21年3月期 40株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 4,183,260株 21年3月期第1四半期 4,183,260株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提につきましては6ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

(参考) 個別業績予想

平成22年3月期の個別業績予想(平成21年4月1日 ~ 平成22年3月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期累計期間	32,000	△6.7	△700	—	△700	—	△700	—	△167	33
通 期	63,500	△5.9	800	—	700	—	700	—	167	33

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年6月30日まで)の日本経済は、個人消費・輸出・生産など一部では持ち直しの動きもみられましたが、企業収益が極めて大幅に減少し、雇用情勢は急速に悪化するなど、景気は厳しい状況が続きました。

このような経済環境は当社グループが主力事業を展開する放送業界にも深刻な影響を与え、テレビ・ラジオに対するスポット広告の出稿量が前年同期の実績を下回るとともに、ネットワーク番組やローカル番組のタイムセールスも極めて低調に推移するなど、営業面で非常に厳しい状況が続きました。

また、京阪神地区では新型インフルエンザの集団感染が発生し、当社グループにおいてもイベントの開催を中止したり、ゴルフ場ではコンペやプレーの予約キャンセルが相次ぐなど、営業面において少なからぬ影響を受けました。

こうしたなか当社グループでは、好調なテレビ視聴率を背景にテレビスポット売上の地区投下額に占める売上シェアの確保に努めるとともに、ラジオ聴取率も首位の座を堅持し、主力の放送事業における売上確保に努力しました。

当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上面では放送事業をはじめ各セグメントにおいて減収となり、売上高は187億8千3百万円で、前年同期に比べ15億6千6百万円(△7.7%)の減収となりました。

費用面では、コスト圧縮などによる費用の削減を実施したことにより、売上原価は126億2千9百万円と前年同期に比べて10億8千4百万円(△7.9%)の減少、販売費及び一般管理費については59億7千2百万円と12億1百万円(△16.7%)の減少となりました。

以上の結果、営業利益は1億8千1百万円となり前年同期に比べ7億1千8百万円の増益、経常利益も2億7千8百万円となり7億2千8百万円の増益、四半期純利益も1億2千8百万円となり4億4千9百万円の増益となりました。

2. セグメント別の状況

[放送事業]

放送事業の売上高は164億3千9百万円で前年同期に比べ14億1千8百万円(△7.9%)の減収となりました。

放送事業では景気悪化の影響で極めて厳しいセールス状況が続きました。テレビ放送事業収入では、レギュラー番組のセールスが極めて低調に推移するとともに単発番組の本数減によりタイム売上が減少し、全国的なスポット広告出稿量減少の影響でスポット売上も減少したことなどにより、前年同期に比べ減収となりました。ラジオ放送事業収入では、ローカル番組セールスが低調でタイム売上が減少したことなどにより前年同期に比べ減収となりました。その他の売上ではイベントなどの催物収入が減少しましたが物販収入が増加しましたので、ほぼ前年同期並みの収入となりました。

費用の面では、コスト圧縮などによる費用の削減を実施したことにより、売上原価や販売費及び一般管理費が減少いたしました。その結果、営業利益は6千万円となり、前年同期と比べ8億1千4百万円の増益となりました。

[ハウジング事業]

ハウジング事業の売上高は21億1千2百万円で前年同期に比べ1億1千5百万円(△5.2%)の減収となりました。

ハウジング事業では景気悪化の影響で、住宅展示場における出展メーカーの一部撤退などがあり、前年同期に比べ減収となりました。

費用の面では、住宅展示場における運営コストの見直しなどを行ないましたが、営業利益は1億2千7百万円となり、前年同期と比べ5千8百万円(△31.6%)の減益となりました。

[ゴルフ事業]

ゴルフ事業の売上高は2億3千1百万円で前年同期に比べ3千2百万円(△12.2%)の減収となりました。

ゴルフ事業では、景気悪化の影響で営業的に厳しい状況が続くなか、5月には京阪神地区などで新型インフルエンザの集団感染が発生し、比較的天候が安定している時期にもかかわらずゴルフコンペの中止などが相次いだ結果、前年同期に比べ入場者数が減少し減収となりました。

費用の面では、販売費及び一般管理費などの面でコスト圧縮に努めましたが、営業損失は6百万円となり、前年同期に比べ3千8百万円(△119.6%)の減益となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ9億9千2百万円減少し281億2千8百万円となり、固定資産は1億2百万円増加し669億4千6百万円となりました。資産合計では8億8千9百万円減少し950億7千5百万円となりました。

流動負債は9億1千9百万円減少し125億7千3百万円となり、固定負債は3億5千2百万円減少し289億6千7百万円となりました。負債合計では12億7千1百万円減少し415億4千万円となりました。

純資産合計は3億8千1百万円増加し535億3千4百万円となり、負債純資産合計は8億8千9百万円減少し950億7千5百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結業績は想定の範囲内で推移しているため、第2四半期および通期の連結業績予想は、当初の計画（平成21年5月15日発表）を変更しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

法人税等の算定方法

法人税等の納付税額の算定については、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,468	7,329
受取手形及び売掛金	11,604	11,496
有価証券	5,995	5,493
番組勘定	1,201	1,051
その他	1,866	3,759
貸倒引当金	△8	△9
流動資産合計	28,128	29,121
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	24,751	24,951
土地	10,644	10,644
その他(純額)	13,215	13,517
有形固定資産合計	48,611	49,113
無形固定資産		
のれん	124	133
その他	1,528	1,646
無形固定資産合計	1,653	1,779
投資その他の資産		
その他	16,705	15,974
貸倒引当金	△23	△24
投資その他の資産合計	16,682	15,950
固定資産合計	66,946	66,843
資産合計	95,075	95,965

(単位:百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	700	700
1年内返済予定の長期借入金	3,125	3,190
未払金	5,518	6,276
未払法人税等	77	104
引当金	431	13
その他	2,720	3,209
流動負債合計	12,573	13,493
固定負債		
長期借入金	2,045	2,060
退職給付引当金	10,925	10,801
引当金	57	57
負ののれん	473	516
その他	15,465	15,883
固定負債合計	28,967	29,319
負債合計	41,540	42,812
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,299	5,299
資本剰余金	3,610	3,610
利益剰余金	40,922	40,981
自己株式	△0	△0
株主資本合計	49,831	49,891
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	965	544
評価・換算差額等合計	965	544
少数株主持分	2,737	2,717
純資産合計	53,534	53,152
負債純資産合計	95,075	95,965

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	20,350	18,783
売上原価	13,713	12,629
売上総利益	6,636	6,153
販売費及び一般管理費	7,173	5,972
営業利益又は営業損失(△)	△537	181
営業外収益		
受取利息	23	9
受取配当金	76	69
負ののれん償却額	42	42
その他	28	43
営業外収益合計	171	166
営業外費用		
支払利息	42	62
固定資産処分損	30	2
その他	11	4
営業外費用合計	83	68
経常利益又は経常損失(△)	△449	278
特別損失		
本社移転費用	112	—
その他	4	—
特別損失合計	117	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△566	278
法人税等	△284	114
少数株主利益	38	35
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△320	128

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	放送事業 (百万円)	ハウジング 事業 (百万円)	ゴルフ事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	17,857	2,228	263	20,350	—	20,350
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	116	26	2	144	(144)	—
計	17,974	2,254	266	20,495	(144)	20,350
営業利益又は営業損失(△)	△753	185	32	△535	(2)	△537

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	放送事業 (百万円)	ハウジング 事業 (百万円)	ゴルフ事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	16,439	2,112	231	18,783	—	18,783
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	77	15	0	94	(94)	—
計	16,517	2,128	232	18,877	(94)	18,783
営業利益又は営業損失(△)	60	127	△6	181	—	181

(注) 1 事業区分は、同一事業系列に属する連結会社を集約して区分しております。

2 各事業の主な内容

- | | |
|-------------|-------------------|
| (1) 放送事業 | テレビ、ラジオ放送事業及び関連事業 |
| (2) ハウジング事業 | 住宅展示場運営事業及び関連事業 |
| (3) ゴルフ事業 | ゴルフ場運営事業 |

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(参考) 個別業績の概要

1. 平成22年3月期第1四半期の個別業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 個別経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	15,734	△7.8	22	-	85	-	55	-
21年3月期第1四半期	17,060	-	△728	-	△635	-	△341	-

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産
	百万円	百万円
22年3月期第1四半期	79,448	48,999
21年3月期	79,968	48,718

(注) 個別経営成績(累計)及び個別財政状態の数値につきましては、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

2. 個別売上高の内訳(累計)

	前第1四半期 自平成20年4月1日 至平成20年6月30日	当第1四半期 自平成21年4月1日 至平成21年6月30日	増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
テレビ放送事業収入				
タイム	3,204	2,960	△243	△7.6
スポット	8,987	8,208	△779	△8.7
番組収入	2,748	2,604	△144	△5.2
計	14,940	13,773	△1,167	△7.8
ラジオ放送事業収入				
タイム	437	353	△83	△19.0
スポット	343	314	△28	△8.4
番組収入	132	85	△46	△35.2
計	912	753	△158	△17.4
その他	1,206	1,206	△0	△0.0
合計	17,060	15,734	△1,325	△7.8